

SAKURA CLEAN CORPORATION

エアポートクリーンセンター

INFORMATION OF AIRPORT CLEAN CENTER

株式会社 櫻商会



MISSION

廃棄物処理を使命として 東京国際空港とともに 60 余年の実績。

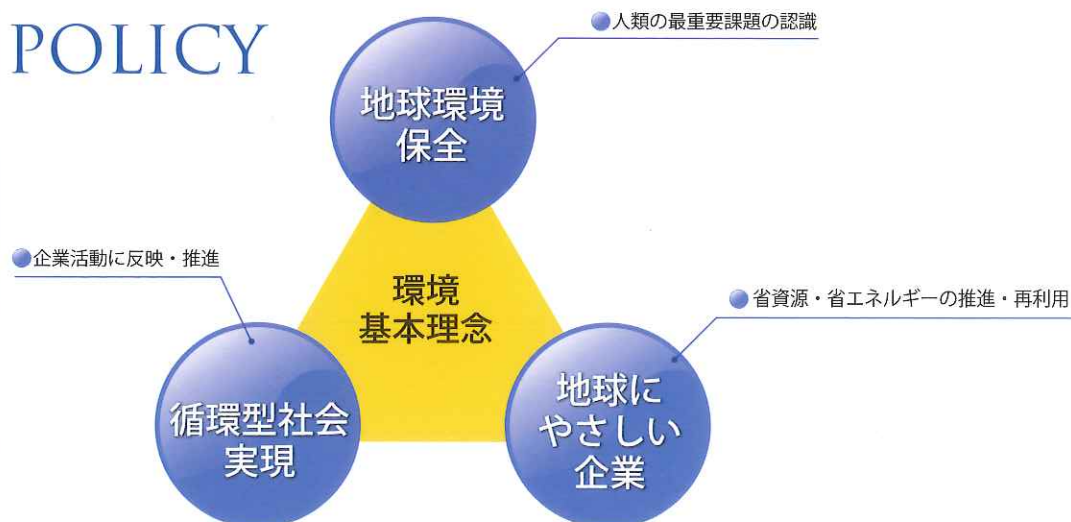
弊社は、終戦直後の昭和 21 年 6 月 10 日に櫻商会を創設して以来、一貫して東京国際空港内の廃棄物の収集、運搬、処理業務を行ってまいりました。

昭和 33 年 7 月、米軍の接收解除に伴い空港は急速に発展拡充し、加えて大型航空機の就航等により廃棄物も急増したため、処理対策として昭和 37 年 7 月に廃棄物焼却施設を空港内に設置させていただきました。

その後、さらに施設の改築拡充、増設等を重ね処理能力の増強に努めてきましたが、焼却施設の老朽化が進んだため、新たに焼却施設を移転整備の上、平成 24 年 7 月から新エアポートクリーンセンターとして稼働を開始しました。これにより、サーマルリサイクル・CO₂ 削減と環境に配慮した省エネ焼却施設として生まれ変わりました。

最先端技術を駆使した本エアポートクリーンセンターは、空港機能の一部として、また空港の環境整備と保全のため、充分負託に応え得るものと確信いたしております。

POLICY





FEATURE

本施設の特徴

① 最先端の公害防止設備

- 有害物質（酸性物質・窒素酸化物・煤塵）の除去（吸着・中和）
- CO₂ の大幅削減
- ダイオキシン・塩化水素ガスの発生抑制
- 焼却灰・飛灰の無公害化
- 排水の排出抑制

② 運転の自動化・省力化

- コンピュータ制御による全自動運転
- 半自動・手動による破碎・供給操作
- 計量システムの自動化

③ 廃熱利用

- 廃熱ボイラーと蒸気タービンの採用によるプラント動力の確保
- 廃熱ボイラーを活用した白煙防止装置の付加
- 廃熱ボイラーを活用した給湯システムの採用

④ 資源の再利用

- ビン・缶・ペットボトル・新聞・雑誌・ダンボール・書類
- 廃プラスチック類・金属くず
- 食品残渣（バイオマス）

⑤ 立地・環境

- 東京国際空港内に立地
- 安全・安定運用による空港機能の確保

DOMAIN

本施設の業務領域

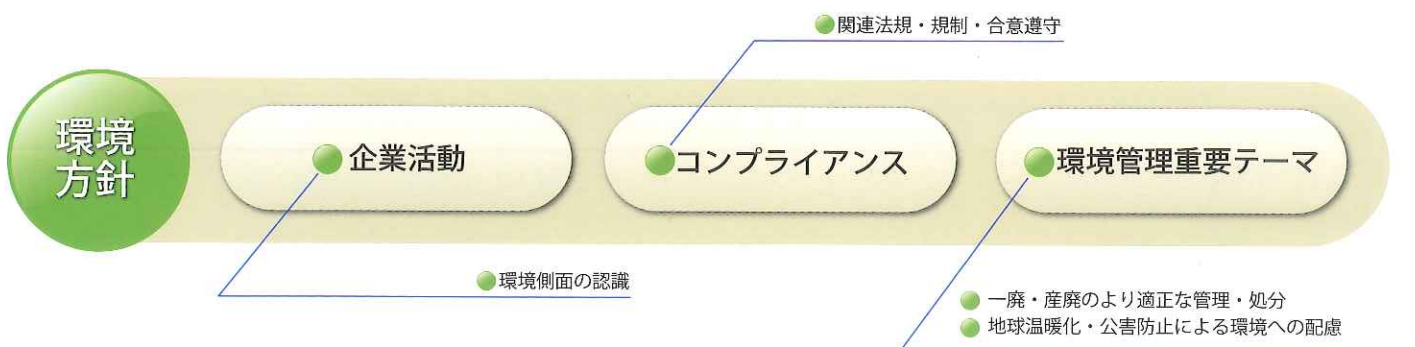
廃棄物の収集・運搬・処理

東京国際空港内対象施設

- 旅客ターミナルビル
- 航空貨物施設
- 官庁施設（航空局・CIQ・警察等）
- 機内食工場
- 航空機整備施設
- 航空機内ゴミの受入
- 空港内刈草の受入

処理方法

- 焼却・分別・リサイクル



INCINERATION PLANT

時代のニーズに応え、 廃棄物焼却処理施設も進化を続けています。

エアポートクリーンセンターでは、ECO・サーマルリサイクル・CO₂削減等、環境に充分配慮した施設づくりを推進してまいりました。その結果、以前に比べCO₂は30%以上削減。また焼却の際発生する熱は廃熱ボイラーで蒸気をつくり、蒸気タービンを駆動させ動力を得るほか、給湯などに利用しています。燃焼の際発生するガスは、中和、吸着処理及びバグフィルターを通すことで、有害物質、煤塵を除去しクリーンなガスとして排出しています。

貯留ゾーン

羽田空港のターミナルビル他、各施設から発生する廃棄物のうち、分別された可燃性廃棄物を受入ピットにて貯留します。



焼却ゾーン

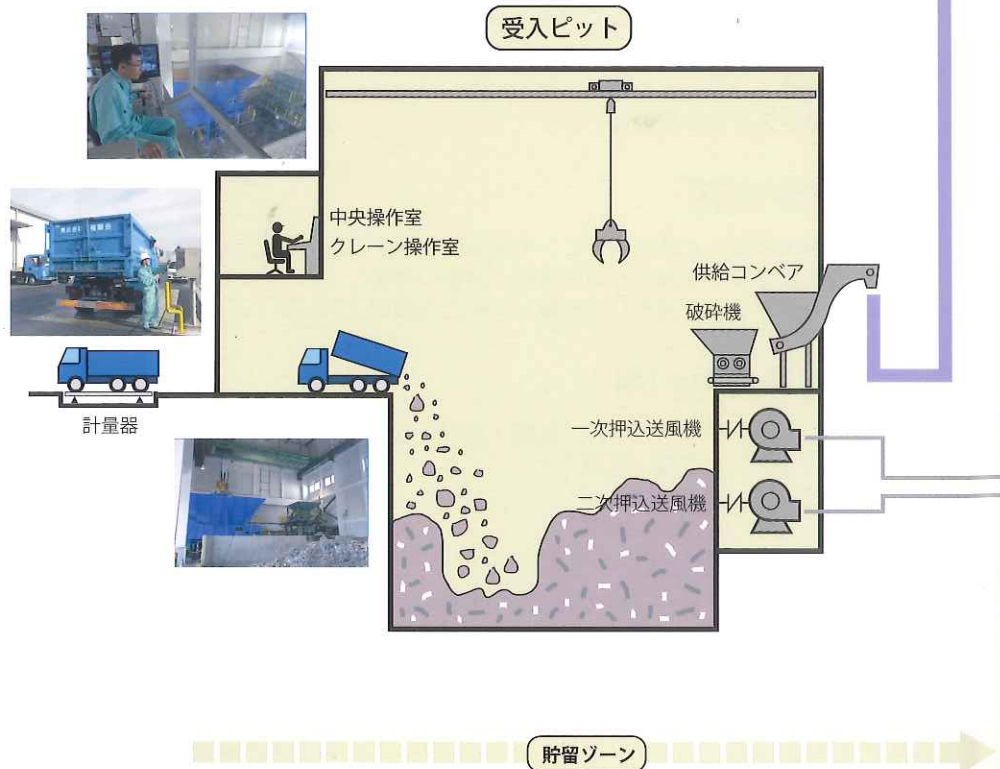
受入ピットの可燃性廃棄物を破砕機にて破砕し、ゴミの均一化を図ったのち、焼却します。その際発生する焼却灰は、一般廃棄物指定のものは埋立、産業廃棄物指定のものはセメントの原料、路盤材に再利用されます。

エネルギー回収ゾーン

焼却の際発生する熱を、廃熱ボイラーにて蒸気に変換させ、蒸気タービン(バックアップタービン)で送風機等の動力の確保、白煙の防止、場内の給湯などに活かします。

環境対策ゾーン

焼却時発生するガスにはダイオキシンをはじめとする有害な物質が含まれているため、ガス冷却塔で発生を抑制を図り、バグフィルターを通して有害物質を除去し、クリーンなガスとして排出します。



資源再生 廃棄物

付帯設備

回収された廃棄物には、再生できるペットボトル・ビン・缶(アルミ・鉄)・紙等多種含まれております。それらを分別し、必要な中間処理を行ったのち、各々用途に応じた資源化材として分別・再生をします。

サーマルリサイクル

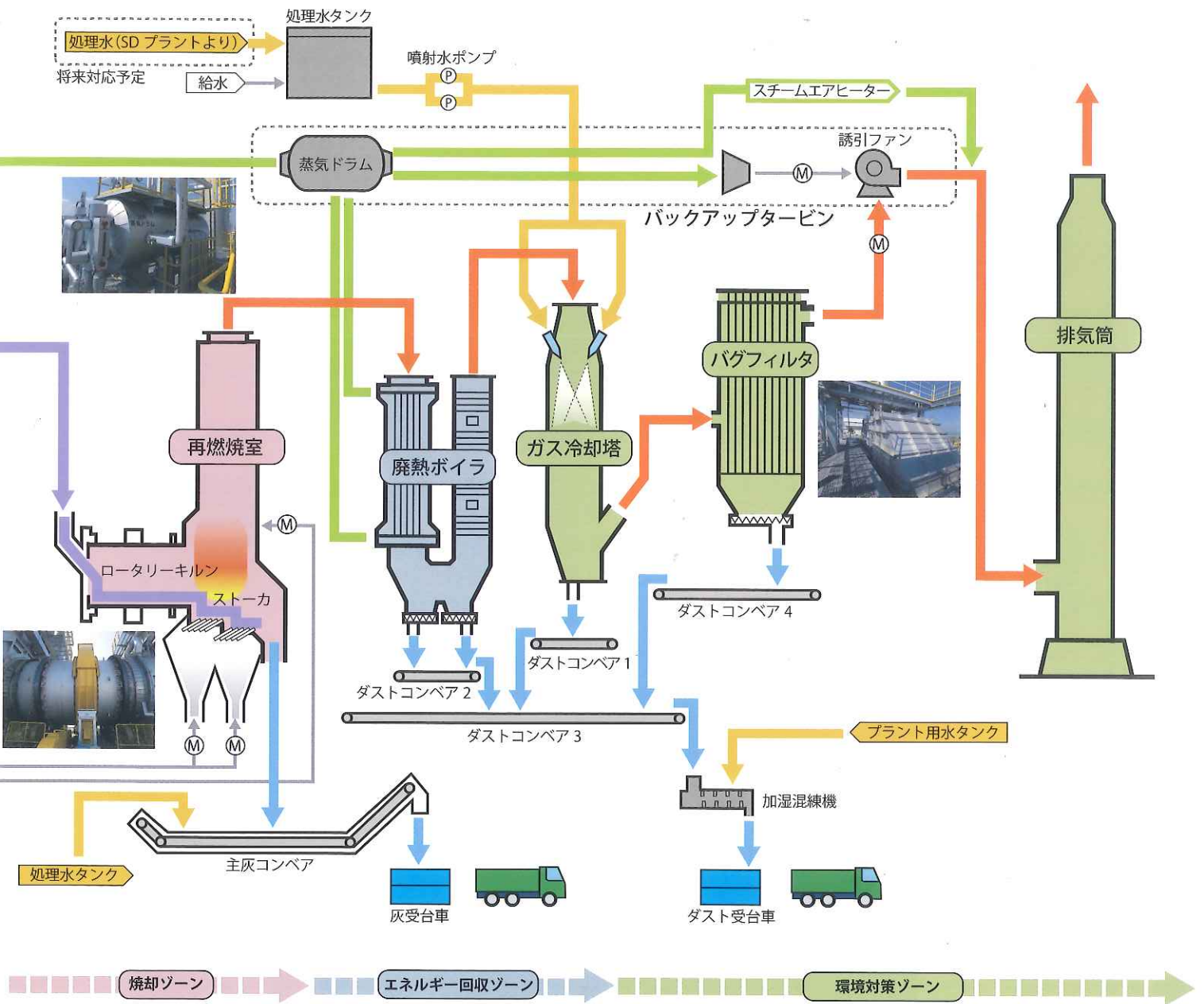
羽田空港に離発着する航空機内のゴミ、空港内で発生する一般ゴミ・産廃ゴミ(可燃性廃棄物)を燃焼させて得たエネルギーから蒸気を回収し、工場内の動力を賄うほか、施設内で有効利用しています。

一般廃棄物

[可燃性廃棄物]

産業廃棄物

[可燃性廃棄物]



大気汚染の防止・温暖化防止

最新鋭の焼却設備で安定処理することにより、排ガス中のダイオキシンのほか、有害ガスの排出量は法規制値を十分にクリアします。これにより地球温暖化防止、公害防止を図っています。

万全の排水処理と悪臭防止対策

焼却設備内で発生する排水は、焼却炉で焼却処理します。場内で発生する臭気はブロウで吸引して焼却炉で高温酸化分解します。

灰の無害化処理

排ガス中の飛灰は集塵装置（バグフィルタ）で捕集し、葉注処理（キレート固化）したのちセメントの原料、路盤材等に再利用します。

空港内で回収された資源ゴミは、 マテリアルリサイクルとして分別・再生されます。

回収された廃棄物には、再生できるペットボトル・ビン・缶（アルミ・鉄）・紙等多種含まれております。当センターでは、これらを徹底分別の上、圧縮減容処理を行った後、各々用途に応じた資源化材として再生利用を図っております。

FLOW

資源再生廃棄物処理フロー

搬入

- 空港内事業所より収集
- 搬入（リサイクルプラントへ）



内部全景

ビン・缶戦別減容システム

解体 分別

- ビン（種類・色別）／缶（鉄、アルミ）／ペットボトル等
- 新聞・雑誌・ダンボール・書類等
- 生ゴミ・廃食油
- 粗大ゴミ・廃管球等



ライター・スプレー缶等



ビン類（無色）



ビン類（色付き）



缶類



粗大ゴミ

減容化

- プレス処理（缶・ペットボトル）



缶減容処理



ペットボトル減容処理



ハサミ・カッター等

搬出

- リサイクル（マテリアル・バイオ）
- 埋立（中央防波堤へ）



AIRPORT CLEAN CENTER

株式会社 櫻商会

SAKURA CLEAN CORPORATION

HISTORY

沿革

- 昭和 21 年 6 月 ● 櫻商会創設 米軍羽田航空基地他の廃棄物等処理事業開始
- 昭和 26 年 8 月 ● 株式会社櫻商会設立
- 昭和 32 年 1 月 ● 特定貨物自動車運送事業免許許可 取得(東京陸運局)
- 昭和 32 年 2 月 ● 廃棄物運搬用貨物自動車供給契約締結 (東京都)
- 昭和 32 年 4 月 ● 一般区域 (限定) 貨物自動車運送事業免許許可 取得(東京陸運局)
- 昭和 33 年 7 月 ● 東京国際空港内清掃・廃棄物処理業の構内営業許可 取得(運輸省航空局) 米軍接收解除
- 昭和 37 年 7 月 ● 廃棄物焼却施設設置(東京国際空港内)
- 昭和 51 年 3 月 ● 廃棄物焼却施設改修・拡充
- 昭和 53 年 5 月 ● 国際線が成田へ移転
- 平成 5 年 10 月 ● 沖合展開事業に伴いエアポートクリーンセンター開設 資本金 3000 万円に増資
- 平成 8 年 12 月 ● 資本金 5000 万円に増資
- 平成 15 年 6 月 ● ISO14001 認証取得
- 平成 17 年 3 月 ● 本社を大田区東糀谷から大田区京浜島へ移転
- 平成 19 年 10 月 ● 廃プラスチック中間処理事業を開始 (大田区京浜島)
- 平成 20 年 6 月 ● 廃プラスチック中間処理工場を増築 (大田区京浜島)
- 平成 22 年 9 月 ● 東京国際空港に国際線定期便開設(国際線旅客・貨物施設供用開始)
- 平成 24 年 7 月 ● エアポートクリーンセンター移転・廃棄物焼却施設設置(東京国際空港内)

PROFILE

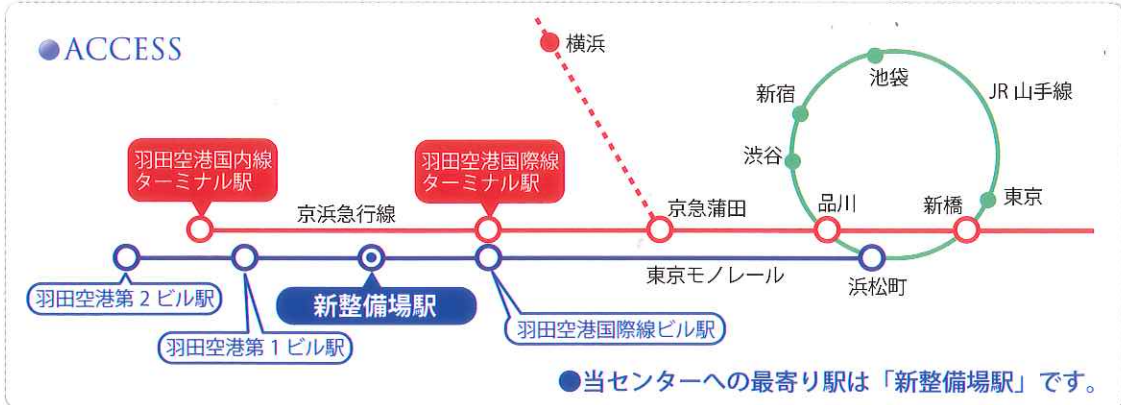
会社概要

設立	●1951年(昭和26年)8月14日
資本金	●5000万円(株主：日本空港テクノ株式会社)
本社	●東京都大田区京浜島二丁目14番11号
空港事務所	●東京都大田区羽田空港三丁目7番4号
事業内容	●一般廃棄物収集・運搬・処理・処分・再生に関わる事業 ●産業廃棄物収集・運搬・処分・再生に関わる事業 ●特定貨物自動車事業、貨物軽自動車運送事業 ●一般区域(限定)貨物自動車運送事業
業務エリア	●東京都23区(大田、目黒、渋谷) ●東京国際空港
社員数	●39名(H24年3月現在)
年商	●11.98億円(H23年度実績)
取引銀行	●三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行
事業許認可等	●特定貨物自動車運送事業 ●東京都廃棄物運搬用貨物自動車供給 ●一般区域(限定)貨物自動車運送事業免許 ●一般廃棄物収集運搬業(大田区許可第8号) ●産業廃棄物収集運搬業(東京都許可第13-10-023866号) ●一般廃棄物処分業(大田区許可第8号) ●産業廃棄物処分業(東京都許可第13-20-023866号) ●貨物自動車運送事業免許 ●東京国際空港構内営業許可

● GUIDE MAP



● ACCESS



株式会社 櫻商会 SAKURA CLEAN CORPORATION

本社／本社社屋（東京都廃棄物運搬用自動車供給事業所）

〒143-0003 東京都大田区京浜島二丁目 14 番 11 号 TEL03-5755-1415 FAX03-5755-1416

空港事業所 エアポートクリーンセンター（東京国際空港内廃棄物処理事業所）

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目 7 番 4 号 TEL03-5756-9270 FAX03-5756-9272

◎工事元請：東京産業株式会社

◎設計施工：(プラント)近藤設備設計株式会社

(土木建築)株式会社フジタ